



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 61 号

2009.2.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

も く じ

お知らせ

- －『苅尾 17 号』の原稿を募集
- －アンケート調査にご協力ください
- －八幡湿原が「にほんの里 100 選」に選ばれました

活動報告

- －冬を生きる動物たちの生態

観察会案内

- －雪原のトレッキング（2 月）
- －雪原のトレッキング（3 月）

お し ら せ

●『苅尾 17 号』の原稿を募集

西中国山地自然史研究会の会報『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600 字程度にまとめてください。今回は草原の特集を組む予定です。雲月山や千町原など、草原にまつわる記事があれば、ぜひご投稿ください。写真を大歓迎します。あなたのみつけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

●アンケート調査にご協力ください

2009 年度の西中国山地自然史研究会の活動を考えるための資料として、アンケート調査を行っています。会の活動をより良いものにしていくため、同封のアンケートにご協力ください。

●八幡湿原が「にほんの里 100 選」に選ばれました。

朝日新聞創刊 130 周年・森林文化協会創立 30 周年を記念した事業「にほんの里 100 選」で、「八幡湿原」がその一つに選ばれました。

下記の HP でご覧下さい。

<http://www.sato100.com/news/100/index.html>

観 察 会 報 告

● 冬を生きる動物たちの生態

開催日時 : 2009年1月18日(日) 10:00

講師 : 上野吉雄

天気予報では雨となっていたため、お天気が心配されましたが、比較的暖かな気温に恵まれ、17名の参加者のみなさんが高原の自然館前に集合しました。積雪量は100cmほどでしょうか。雪上を歩くため、かんじきやスノーシューを準備して、観察会が始まりました。今回の講師は上野先生です。自然館前を出発し、目にとまった足跡や生き物をみんなでのぞき込み、上野先生の説明を聞きました。足跡を見たときは、まず指の数を数えたらよいことや、ウサギの足跡は前についてあるのが後ろ足であることを聞き、矢印のようなキジの足跡も見ました。カワゲラの仲間やハエの仲間、ガガンボやトビムシといった雪上で生活している昆虫もいました。観察しながらその生態や生命力に驚く声が参加者よりあがりました。雪原を通りきり、森のそばに近づいたとき、一瞬ではありますが、ウサギの姿を見ることができました。ウサギがいたと思われる穴を、上野先生が探し出し観察しました。木の根元の藪のようところが入り口で、思った以上に奥行きがあり、キツネなどの天敵から身を守る為の工夫がされていることがわかりました。動物以外にも、植物の冬の姿も見ました。ドライフラワーのようなノリウツギ、雪の上に落ちているカラコギカエデの種子、鳥のフンによって種子散布がされているヤドリギノの種子などです。観察会を通して、動植物の冬の生態、冬を越すための戦略など多岐に渡るお話を聞くことができました。また雪の感触を十分に感じた観察会となりました。[このやよい]



色とりどり、形さまざまな雪歩きアイテムが揃った。



踏みあとのない雪の中をさくさくと歩く。少し重ための雪だった。



ウサギがかじったカラコギカエデの枝。



交代でウサギのいた穴の中のをぞき込んでみる。



ヤドリギの下でまとめをして、解散した。



ツグミのフンかな？カンボクを食べたよう。

【みなさんの印象に残った物】

「足跡が沢山見れたこと」「冬に生きる虫」「ノウサギが見られた。雪上のカワゲラ初でした。」「冬に雪の上に虫がいるということ。小さいのでわかりにくいけれどもとっても意外でした。」「うさぎ追いし かの川」「鳥が少ない。雪に足がめりこんだ。」「ウサギのねどこを見たこと。(2)」「ウサギとウサギの休んでいる穴を見て爪のあとが見れたこと。」「トビムシなど雪の上にもけっこう沢山いるのに驚いた。」「ウサギを見たこと。」「ウサギの巣。木の実。」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「今日は観察をするのに天気も良く、大変楽しく過ごせました。」「町内に住みながら、分からないことが多かった。」「かんじきのありがたさを感じました。雪中行は初めての経験でした」「ヤドリギの実を食べた鳥のフンのネバネバには驚きました。」「諸々大変興味深く、おもしろかったです。ふぶきでないのよかったです。」「鳥があまり見られなかったのが残念。」「先生の説明がとても良い。小さな虫でも寒い雪の中に生きていることに感動する。」「鳥を見なかった。去年は多くいたが、今年は見れず残念。」「雪の中の動物の足跡で、キツネ・ウサギ・テンなどの種類が見れたこと。」「雨も降らずいろんなものが見られて楽しかったです。」「たくさんの足跡を見ることができてよかったです。」「冬の生物の生態系がよく分かりました。」



風で折れて下に落ちていたヤドリギ。せっかくの機会なので、種を観察。

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

●雪原のトレッキング (2月)

開催日時:2009年2月21日(土)10:00

集合場所:高原の自然館

※高原の自然館が集合場所となっておりますが、千町原の道路は除雪がされないため、冬季通行不可となっております。県道307号線から「芸北高原の自然館」という縦型の看板を目印においでください。

準備:基本セット、かんじき(レンタルもあります¥200)

定員数:30名

参加費:300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円、高校生以下は無料)

今年の積雪量はどうでしょうか?雪の深い時期にしか歩けない場所を歩いたり、いつもと違う草原の景色を楽しみませんか?かりおの樹氷も見られるかもしれません。雪が多い場合は、スキーやスノーシュー、かんじきなど準備くださいね。

●雪原のトレッキング (3月)

開催日時:2009年3月8日(日)10:00

集合場所:高原の自然館

※高原の自然館が集合場所となっておりますが、千町原の道路は除雪がされないため、冬季通行不可となっております。県道307号線から「芸北高原の自然館」という縦型の看板を目印においでください。

準備:基本セット、かんじき(レンタルもあります¥200)

定員数:30名

参加費:300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円、高校生以下は無料)

3月といえど、八幡湿原は冬まっただなかです。雪もまだまだ残っていることでしょう。しかし、雪の中ではいきものや植物は春の準備をしています。冬と春のきざしを見られる楽しいトレッキングです。



今回より苅尾電波塔の編集をお手伝いすることになりました。高原の自然館からのお知らせや、西中国山地自然史研究会の活動報告や案内などを、みなさまにわかりやすくお伝えできるよう、がんばりたいと思います。また、芸北ならではの季節のお便りもお届けできればなあと考えています。どうぞよろしくお願ひします。[この]

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info